



# 森と生きる。

林業に携わる全ての方に安全を。  
— Forestry Safety News —

Vol.  
10

目次  
INDEX

- 雪に備えましょう!
- 冬用タイヤについて、正しい運用を!

## 雪に備えましょう!

### 安全な除雪作業を!

本格的な冬を迎える前に安全な雪下ろし作業を確認しましょう。

参考:国土交通省「雪下ろし安全10箇条 動く電子ポスター」  
([https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/kokudoseisaku\\_chisei\\_tk\\_000064.html](https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/kokudoseisaku_chisei_tk_000064.html))を加工して作成



降雪の多い地域の方は「作業慣れ」に注意しましょう。「いつも大丈夫」は「これからも大丈夫」の保証にはなりません。

降雪の少ない地域では、慣れない作業で転倒なども懸念されます。万が一に備え、正しい服装での作業、道具の準備・管理を行いましょう。

### 雪崩に気をつけましょう

国土の半分以上が「豪雪地帯」である日本は、雪崩の危険箇所は全国で2万ヶ所以上あるとされています。なお、雪崩はすべり面の違いにより以下の表のように分けられています。

雪崩の種類	すべり面	時期	スピード	特徴	発生しやすい条件	雪崩の発生しやすい斜面の植生・状態	雪崩の到達範囲
表層雪崩	すべり面 	1~2月 頃の 厳寒期	100~200 km/h 	大規模なものは 巨大な雪煙を伴い、 山麓から 数kmに達する	●気温が低く、既に多くの積雪の上に 短期間に多量の降雪があるとき ●急傾斜で、雪庇や 吹き溜まりがある斜面 ●0度以下が続き、吹雪や強風が伴う	発生しやすい まばらな植生 中高木が密に植生 低木・灌木 裸地・草地 発生しにくい 発生しやすい ほとんどの発生しない 傾斜勾配 30度未満	雪崩発生 (到達する範囲=危険地域) 
全層雪崩	すべり面 	春先の 融雪期	40~80 km/h 	斜面上の固くて 重い雪が 流れるように すべり落ちる	●過去に雪崩が発生している ●春先、降雨後、フェーン現象等 による気温上昇時 ●斜面に積雪の亀裂がある		24° 18° 全層雪崩危険地域 表層雪崩危険地域

林内作業時は、作業現場の雪崩発生有無など事前に調査を行い、危険箇所を把握しKY活動を行いましょう。

雪崩に遭遇・巻き込まれた場合の対応なども確認してみましょう

■政府広報オンライン  
「雪崩(なだれ)は最大で時速200kmものスピードに!  
雪崩から身を守るためにには?」  
<https://www.gov-online.go.jp/article/201311/entry-8964.html>



# 冬用タイヤについて、正しい運用を!

## 冬用タイヤの注意事項

冬用タイヤの知識をつけ、正しく運用するために  
注意事項を確認しましょう！

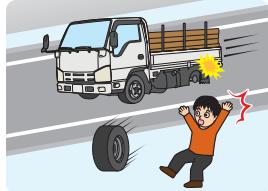
特に木材運搬トラックなど重量物を積む際、  
タイヤに大きな負担がかかるため、  
しっかり注意事項を確認しましょう



### 1 車輪脱落

大型車を例にすると、右図の通り、  
**冬期にホイール・ボルトの折損等による事故が増加傾向にあります。**

どのような点に  
気を付けるべきか  
チェック事項を  
確認しましょう。



ホイール・ボルトの折損等による大型車の車輪脱落事故(過去5年間の発生月別推移)



参考:国土交通省「車輪脱落事故の発生状況」(<https://www.mlit.go.jp/jidisha/jidisha/tenkenseibi/tenken/t2/t2-1/>)を加工して作成

#### ✓ チェックリスト(一部抜粋)

- 標準の締付トルクで締め付けられているか
- ホイール・ボルト、ナット及びホイールの錆、ゴミの確認、清掃は十分か
- タイヤ交換後、50~100km走行後、増し締めは行ったか

チェック事項・より詳細な内容は  
こちらからチェックしましょう！

■国土交通省  
「車輪脱落事故の発生状況」  
<https://www.mlit.go.jp/jidisha/jidisha/tenkenseibi/tenken/t2/t2-1/>



### 2 溝深さ

溝深さの消耗具合を判断する  
**「プラットホーム」**を  
運行前に確認しましょう。

タイヤメーカーにより異なりますので、  
必ず自身のタイヤの種類を  
把握しておきましょう。

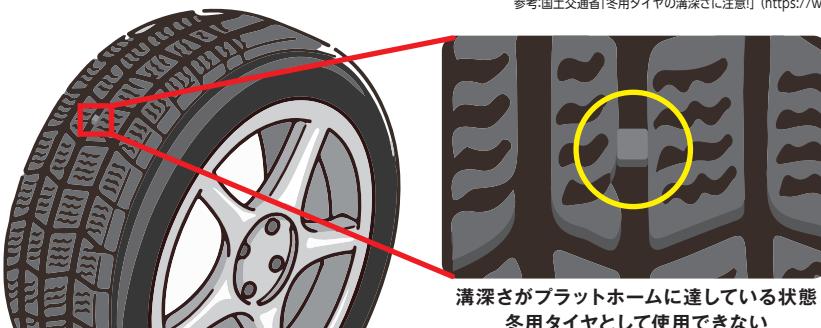
#### プラットホーム

日本国内における道路交通法施行細則等によって定められた冬用タイヤとしての使用限度の目安となる、  
新品時の溝深さから50%の位置にあるゴムの盛り上がりを設置した部分



位置  
プラットホームの位置を表す矢印  
(周上4箇所以上)

参考:国土交通省「冬用タイヤの溝深さに注意!」([https://www.mlit.go.jp/jidisha/carin/rcl/carsafety\\_sub/carsafety\\_037.html](https://www.mlit.go.jp/jidisha/carin/rcl/carsafety_sub/carsafety_037.html))を加工して作成



溝深さがプラットホームに達している状態  
冬用タイヤとして使用できない



冬用タイヤを装着しても、  
乾燥路面と同様の走行を  
することはとても危険です。

冬場は時間に余裕をもち、  
安全に走行することを  
心掛けましょう。



## 編集後記

冬も本格的になり、寒さに負けない強い体づくりを行いたいと思いながら、こたつでみかんを食べています。  
毎年同じことを思いながらいつのまにか暖かくなっています。今年こそは頑張ろうと思います…!!  
(レンタルのニッケン 関東支社コントロールチーム 育林)

## レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報を  
お届けしています。是非ご覧ください。



### 森生(シンセイ)のご活用についてのお願い

弊社は皆様の、安全作業に関するよりよい情報を提供するため、森生(シンセイ)の製作・配布に取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願いいたします。

- 森生(シンセイ)の一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複写・複製・貸貸・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
- 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
- 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

編集・発行／2025年12月

株式会社レンタルのニッケン  
林業安全向上委員会

### お問い合わせ／

株式会社レンタルのニッケン  
林業安全向上委員会 宛  
Mail:sinsei@ml.rental.co.jp

森生(シンセイ)で取り上げて欲しい題材や  
ご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください。

✉ nikken@rental.co.jp